



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 生駒 祐健
幹事 渡邊 國和
SAA 峯口 馨
会報小委員長 嵐 繁雄

◎例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ◎事務所 いわき市植田町中央一丁目 6 番地の 9
◎例会場 ホテルミドリ 〒974-8261 ホテルミドリ内
TEL0246-62-3737

第 2540 回 例会 平成 26 年 2 月 12 日 (水・曇)

2013~2014 年国際ロータリーのテーマ

ゲスト

いわき市社会福祉協議会

草野 淳様

ロータリーソング 我等の生業

— 今月は世界理解月間です —



4 つのテスト

中村 昌宏 会員

◎会長報告 - 生駒祐健会長

皆さん、今日は。先週末から今週にかけて大変な雪になり、どうにか道路が通れるようになった常態です。このような大雪が降るといろいろなことがおこるようです。私達の地方では雪に対する備えが出来ておりませんのでいろいろな面で行なっている事がおこっています。さて、昨日 2 月 11 日は建国記念日でございました。紀元で数えますと今年は 2675 年にあたり、そんなことも頭の中に入れておいて戴きたいと思います。また、2 月 14 日はバレンタインデーで洋風な文化が入って来ております。2 月 15 日は皆さんにあまり馴染みの無い日ですが我等仏教徒にとって大変大事な日で涅槃会と申しましてお釈迦様が亡くなった日です。また、先週の例会終了後の理事会において 2 件について協議が行われました。1 件は岡崎ロータリークラブからの親善クラブ提携の要望書の件です。この件については提携をお受けして仲良くして行こうと結論が出て皆様のご了承を戴きましたので先方に連絡を入れたいと思います。2 件目は当クラブの創立 50 周年記念の時に植田駅前に立派な像を建てましたがその後の手入れや掃除を行っていませんでしたので年に 1 回か 2 回清掃する機会をと遠藤会員より提案が出ましたので社会奉仕と保全委員会が中心となり活動しようと言がまとまりましたので今後皆様と話し合い動く予定でおります。それでは本日のお客様をご紹介致します。いわき市社会福祉協議会ボランティア活動センター長の草野

淳様です。後程卓話を頂戴することになっておりますので宜しくお願いします。

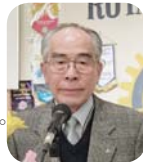
◎幹事報告 - 渡邊國和幹事

・東京江戸川ロータリークラブより 4 月 7 日、8 日のどちらかで親善ゴルフを行いたいと提案があり小熊会員の方で調整中です。

◎各委員会報告

◇出席委員会 - 高木副委員長

本日の出席状況は下記の通りです。なお、本日は出席奨励賞を差し上げたいと思います。丹野会員、清水会員、斉藤会員前の方へどうぞ。おめでとございます。



◇スマイルボックス委員会 - 山下小委員長

・いわき市社会福祉協議会ボランティア活動センター長 草野淳様の卓話を歓迎して。

秋山、小松崎、佐野、高田、煙山、嵐、山下、赤津(善)、高萩、金成、荒川(清)、林各会員及び渡邊公平ガバナー、生駒会長、川口会長エレクト、渡邊國和幹事、鈴木副幹事

出席状況 正会員数 50 名
本日の出席率 76.74%

本日出席会員数 33 名
修正出席率 88.37%

・2 月 11 日建国記念の日に東田町に鎮守する出羽神社復興落成祝賀会をささやかに開催しました。ご協力ありがとうございました。 赤津善宣会員
・出席奨励賞ありがとうございました。

丹野、清水、斉藤各会員
・誕生祝ありがとうございました。 鈴木修一郎会員
・しばらく休んでごめんなさい。 富澤会員
・前回休んでごめんなさい。

高木、岩元、中村、橋本、斉藤各会員
・本日早退ごめんなさい。 鈴木雅之副会長

◇新世代委員会 - 岩元小委員長



先週の 2 月 7 日と 8 日にインターアクト国際理解研修会が天栄村ブリテッシュヒルズで開催され出席して参りました。磐城農業高等学校インターアクトクラブからは顧問の佐藤先生、生徒 4 名、新世代委員会の斉藤会員、岩元で参加致しました。参加校 13 校生徒 49 名顧問 14 名、ロータリアン 19 名総人数は 82 名の参加でした。研修会の詳細については後日の例会で生徒達から報告発表致します。45 年振りの大雪の中での研修会で斉藤会員には往復の雪道運転でお世話になりありがとうございました。もう 1 つ連絡事項として第 35 回近隣中学校ソフトテニス大会の日時が 4 月 26 日(土)に決定しましたとの連絡が北茨城ロータリークラブからありました。詳細については 2 月 26 日の打合せの後に報告をしたいと思います。

◎外部卓話



いわき市社会福祉協議会
ボランティア活動センター長
草野 淳様
いわき市社会福祉協議会ボランティアセンターの草野と申します。

今年で 42 歳になり昨年厄年でしたが何事も無くこれからもう少し頑張っていきたいと思っています。皆様には資料を配らせて戴きましたが、1 つは気づくことの大切さという資料です。その他広報誌、だより、震災の記録冊子をお配り致しましたが今日は最初の「気づくことの大切さ」を中心にお話をしますので他の資料は後程ゆっくりご覧下さい。まず、我々社会福祉協議会はどうなことをしているのかと思われていらっしゃると思います。我々は地域福祉を展開しております。地域福祉とは地域における福祉の問題に対し、その地域の住民や福祉関係者などが協力して取り組んでいこうというのが地域福祉の考え方で

す。そして、自分達の住んでいる地域は自分達で考えて住み良くして行く。もし、困ったらくわしい人に聞いてみましょうというのが地域福祉の概念といわれています。そして、くわしい人間は誰かという我々社会福祉協議会の人間だったり、また行政の福祉関係者だったり、場合によっては包括支援センターや NPO ボランティアグループの方々だったりします。我々は住民主体となる活動の後方支援や側面的支援をしながら進めています。それでは社会福祉協議会(社協)の主な活動はというと、いきいきデイクラブ(高齢者のためのサロン)、子育てサロン(ママさんやパパさんのためのサロン)等社会福祉協議会は赤ちゃんからおじいさんおばあさんまで皆を笑顔にする活動を行っております。これらの活動を行うためには共同募金が大事になってきます。この共同募金が我々の活動費として各地区社協へ助成金を配分しながら事業展開していくのが社会福祉協議会であり共同募金の役割でもあります。

【東日本大震災から学ぶ】エピソード

津波被害を受けたおばさん宅 庭も家の中にも波が押し寄せ、一人で片付けするのは、到底無理。役所に相談すると、災害救援ボランティアセンターを紹介された。恐るおそる電話をすると、スタッフが電話に出て、優しく対応してくれた。

それから数日後、ボランティアさんがおばあさん宅に活動に入る。庭に入った大量の海砂をスコップでかき出すと、そこには、小さなレンガが数個落ちていた。

特に時間があつたわけではないが、ボランティアさんは、そのレンガを使い、小さな花壇を作った。『おばあさん、今度来るときは、種を持ってくるからね』おばあさんの瞳からは、涙がこぼれ落ちる。

この場所に花が咲くか分からない、この場所に住めるのか分からない、それでもボランティアさんは、そこに種をまき、花が咲くことを願った。

そこには、きっと『希望の花』が咲く。

支援者は、相手のキモチを知ることが大切、支援活動をしたことで『満足』をしてはいけない、笑顔を見るまでは、『満足』をしてはいけない、ほんの少し『口元が緩む』でもいい、その人を笑顔にする活動、それがボランティア活動であり地域福祉活動だと思います。

あなたが笑うまで